

三単現のS 全校研究授業（英語科） 2019.9.25

県教委から指導者をお招きし、1年生の英語の授業を通して全職員で授業の在り方を研究しました。当日は天龍小学校の先生も参観され、生徒の学びや活動の様子から成果と課題を話し合いました。生徒たちは疑問や発見から、分かり使える学びに意欲的に取り組む姿が見られました。次回は社会科授業における複式指導の在り方を研究し、学び合います。

【授業研究会】



For One Purpose ～ みんなでひとつに ～ 第49回譲葉祭

2019.10.5

10月5日（土）今年度の生徒会最大行事である譲葉祭が開催されました。開会式（開会宣言）を皮切りに、午前中は各学年発表やダンス発表、ふれあい講座が行われました。開会式のオープニングは工夫を凝らしたもので、来場者をワクワクさせてくれました。各学年発表は劇やクイズを盛り込んで学習のまとめを発表し、体育の授業で取り組んだグループでのダンスも持ち味を出すことができました。ふれあい講座は“竹とんぼ作り・マレットゴルフ”の2講座に家族や村長さん、教



育長さんをはじめとする地域の方々と交流しながら楽しんでいました。

お昼は一同が体育館で輪になり、婦人会の皆さんが用意してくださった豚汁とオニギリで和やかな時間を過ごしました。

午後は展示見学でスタート。音楽会は、ひとりひとりの声がバランスのよいハーモニーとなり、素晴らしい会となりました。閉会式ではステージ上でひとりひとりが感想や思いをしっかり述べ、感動の閉会となりました。

- ・来校者が増えていくにつれて心臓もバクバクになってきて、手足の震えがヤバかったです。自分の出番がくるのはあっという間で、とても早く感じました。
- ・朝から緊張で口数がとても多かったです。学年発表は練習通りスムーズに進みました。ダンスは足が震えていて、踊れるか心配だったけど、いいダンスができたと思います。マレットゴルフも楽しめました。歌も成功しました。いい一日になりました。
- ・テーマにある～みんなでひとつに～を三年生が中心となり楽しく譲葉祭ができたと思う



ので、すごく嬉しかったです。来年は自分たちが全校をリードするので、今年の三年生を目標に楽しい譲葉祭にしたいです。

めっちゃめっちゃ緊張していました。去年よりも圧倒的に増えた仕事量。正直不安しかありませんでした。でも練習の成果を精一杯出したり、自分でその場で考えたりして行動しました。譲葉祭が終わってみて、達成感とかだけでなく、後悔も自分の中にはあります。このメンバーで作り上げることができて最高でした。

また、来校いただいた方から今年はたくさんの感想をいただきました。

- ・全校生徒と先生が一丸となって文化祭を作り上げていると思いました。音楽会では全員の声一つにまとまっていて、一生懸命練習したのが伝わってきました。
- ・とてもいい歌を聞かせて頂き、私も久しぶりに若返りました。思い切って来てよかったです。



- ・1年生の生き生きとした演技にびっくりしました。2年生は体験の中身（奥深さ）を感じられる良い発表でした。3年生は内容の良さに加えてクイズなど発表の仕方にまで工夫をされていて感心しました。



- ・キレイのダンスがかっこよかったです。来年入学する6年生が目を光らせて観ていました。
- ・生徒たちが伸び伸びしているのが何よりです。良い教育をされているのだと嬉しくなりました。

福祉とは・・・ 福祉体験事前学習 2019.10.10



11月7、8日に予定している3年生福祉体験学習の事前学習として、長野県社会福祉協議会キャリア支援専門員の宮本さんからお話を聞き、兼宗さんから車椅子介助も学びました。「働くこと」「福祉について」「体験での注意」を教えてくださいました。



満島神社例大祭“神輿きおい”参加 2019.10.13

村行事であるお祭りの神輿きおい参加に向けて、2年生を中心に準備してきました。当日は中学生の心意気を見せて神輿を担いで歩きました。保育所及び小学校と合わせて4機の神輿が村をにぎやかにし、村民の皆さんの笑顔がたくさん見ることができました。最優秀賞は小学校低学年に輝きましたが、本校は努力賞をいただきました。

- ・神輿は小学校のものよりも重く感じました。元気よくできたのでよかったです。
- ・小学校の神輿はすごくて、負けないようにと必死に頑張りました。途中で知らないおじさんが入ってきたハプニングもありましたが、楽しくかついでゴールまで行けました。努力賞でしたが達成感がありました。



どう接するの？ 認知症サポーター養成講座 2019.10.17

阿南病院より2名の認知症介護士の方を講師に、全校生徒対象の「認知症を学び、地域で支えよう」をテーマにした講座が開かれました。特徴や介護の方法など、どう接していけばよいかを考え、理解する機会となりました。実践に結びつけたいことです。

- ・認知症ともの忘れの区別をしっかりとつけられるようにして、認知症の人にきつくあたるのは絶対にダメだと分かりました。サポーターはそんな人たちを支えるようなものでした。認知症の人の大変さはわからないけど、優しく手助けしたいと思いました。
- ・認知症という言葉は知っていたのですが、くわしくは知りませんでした。今回理解を深めることができました。天龍村は高齢化率が高いので、お年寄りに接する機会が多いと思います。なので相手に合った対応ができるようにしていきたいです。
- ・認知症には、中核症状と行動・心理症状の二つがあることを知りました。認知症は環境も関係していることを知りました。なので、より良い環境を保って、買い物の道中で困っている高齢者の方がいたら優しく敬語で声をかけられるようにしていきたいです。



学校林で間伐体験 森林レボリューション 2019.10.23



“3年に1度は現地で体験を”4名の講師の方から森林や木に関わるお話を聞き、学校林で直接指導を受けながら作業体験を行いました。雨の影響も心配されましたが、当日は晴天に恵まれ貴重な体験ができました。手作りハンガーの材である檜を伐採したり、皮をむいたりして木を肌で感じました。今回は獣から樹木を守るシートを巻く作業も行い、木を育てる意識も高めることができました。

- ・間伐は自分が思った以上に上手くできました。たくさんを知ることができました。
- ・木が倒れた瞬間は、とても達成感に満ちあふれました。
- ・とても楽しみでワクワクしていました。林業はやっていることを受けてくれる若者がいなくなっていることを知って、少し悲しかったです。貴重な体験を楽しめたと、山のすごさをたくさん知れてよかったです。
- ・間伐をやるのは初めてでした。力を入れすぎるときれなかったのが、加減が難しかったです。
- ・間伐は思っていたよりも難しく、一本を切る大変さを知りました。木の皮をむいたら、とてもキレイでした。本当の木の匂いが分かりました。
- ・やっぱり森林組合の人はとても上手でした。素早いスピードで見る見るうちにノコギリが進んでいきました。ロープでひっかけて、みんなで引っ張りました。「ドン」といういい音が鳴って、とても迫力がありました。最後に輪切りにしてもちかえりました。とてもいい記念になったし、とても楽しかったです。
- ・実際に間伐作業をしてみると、受け口と追い口を作るのに時間がかかったりしたけど、グループの人と協力して切ることができました。森林について学ぶことができたし、林業で働いている人の大変さも学ぶことができました。



限りあるエネルギー資源 PTA 講演会 2019.10.25

中部電力でんき科学館のスタッフの皆さんから“わたしたちの暮らし「エネルギーと環境」と題して、実験やクイズを交えて発電やエネルギー資源の現状を教えてくださいました。電気の有難味や限りあるエネルギー資源、地球温暖化を実感した時間となりました。

- ・地球温暖化をより実感できたので、節約できるようにしたいです。私は50年後がとても心配だなと思いました。
- ・石油や石炭があと何年持つかを知った時、私はとても衝撃を受けました。でも自分たちでも対策がとれます。もっといつもより気にかけてみたいと思いました。電気があることは、とても幸せだと感じました。

予告なし訓練 第3回避難訓練 2019.10.30

火災を想定した無告知の避難訓練を実施。翌朝沖縄県の世界遺産でもある首里城の主要建物を全焼。火の取り扱いや出火時の初期対応の大切さを感じました。消防士の方から「自ら判断・行動する」大切さを実践していきたいと思いました。

- ・数学の授業でプリントをやっているときだったので、とてもびっくりしました。避難するとき「お・は・し・も」を守り、真剣に取り組むことができました。
- ・消火器の使い方を体験しました。本当に火事起きた時はパニックでできなくなるそうなので、「ピ・ノ・キ・オ」を忘れないように意識したいです。
- ・消防士さんの話は聞いていてとても説得力がありました。いつ火災は起こるか分からないし、普段から気を付けることは本当に大切だと思いました。



遠山中に行ってきました 三校交流会 2019.10.31

今年2回目の三校交流会がありました。天龍中役員が企画した〇×ゲームで緊張を和らげた後、遠山中の計画でグループ別で“校内ナゾトキ探検”大会を行いました。合唱も聞き合いました。3校の生徒は楽しそうに関わりあい、大きな笑い声が聞こえてきました。同年代の友達と情報交換するよい機会となりました。



- ・グループに分かれてナゾトキをしました。なぞはなかなか解けず大苦戦。結局解けなかったけど、とても楽しかったです。歌は久しぶりに声を出したから、上手くコントロールできなくて少し悔しかったです。人数の差もあるけど、遠山中はすごかったです。
- ・合唱交流では2つの学校ともよく聞こえて、声がまとまっていますすごいと思いました。フリートークでは、みんなの好きなものを聞くことができ、とても楽しかったです。
- ・一番楽しかったのはフリートークで、自己紹介をしたり趣味の話をして楽しかったです。
- ・とても楽しい時間を過ごすことができました。来年は何をするのかを考え始めたいです。
- ・グループで天龍中は一人だったので心配でしたが、どんぐり向方の友達が一緒だったので嬉しかったです。謎解きはどれも難しく大変でした。でもチームの人が優しく教えてくれたので、無事ゴールすることができました。



ハンガーPROJECT

第18回ハンガー製作会

2019.9.28



今回は中学生の参加も増え、活気ある製作会となりました。なんと今回だけで100本以上完成しました。

現在ハンガーメーターは1617本、

アスリートメーターは1232本となっています。

10月は行事関係でお休みしました。次回は11月9日(土)となります。



第23回ボランティア・スピリット・アワード(主催:ジブラルタ生命・日本教育新聞社、後援:文科省、日本赤十字社)に応募。北関東・信越の中学生部門でブロック賞受賞。11月23日栃木県宇都宮市で行われるブロック表彰式及び12月21日東京都で行われる全国表彰式へ参加予定です。また、全国林業関係コンクールに長野県の推薦で提出済みと連絡がありました。天龍村CM大賞にも使用(一次審査通過)。